

街路樹診断協会創立20周年に向けて、第九期の活動が進んでいます

20周年記念事業委員会 実行委員長 笠松滋久

会員の皆様には、日頃より一般社団法人街路樹診断協会の運営・活動にご協力いただきお礼申し上げます。新年度業務も動き始め益々ご活躍のことと思います。

さて、今年(2018年)は、1998年(平成10年)8月に任意団体として街路樹診断協会が設立されてから早や20年です。この間、街路樹診断技術の普及と向上、協会について一般にも広く知ってもらうために、講演会・シンポジウムの開催を重要な活動として位置づけ実施してまいりました。特に、都市樹木の診断についての新たな知見、診断技術と診断機器情報等を取り入れるため、海外の情報も視野に活動しており、その時期における最新の内容を普及するために国際シンポジウムを開催してきました。

2003年5月 街路樹診断協会設立5周年記念事業：マテック博士講演会

2008年6月 街路樹診断協会設立10周年記念事業：シンポジウム「世界の樹木管理とリスクマネジメント」

2011年11月 一般社団法人街路樹診断協会設立記念事業：ボン博士講演会

街路樹診断協会創立20周年に当たり、国際シンポジウムの開催と記念出版に向けて、組織体制を整えておりますのでお知らせいたします。

街路樹診断協会20周年記念事業実行委員会を結成し、統轄本部のもと、企画委員会、渉外委員会、広報委員会、出版委員会、事務局が役割分担していきます。各支部等を通じて会員の皆様のお力添えをお願いすることもあると思いますので、ご協力やご意見をお願い申し上げます。

1. 第九回定時社員総会

第九回定時社員総会を昨年(2017年)10月27日(金)、弘済会館(東京都千代田区)で開催し、第八期事業報告及び決算、理事改選、そして第九期(2017年9月1日～2018年8月31日)の事業計画及び予算が承認されました。また、小林明氏(一般社団法人日本樹木医会東京都支部理事)に「サクラ類の昨今の病害虫事例」と題して、クビアカツヤカミキリを中心にキクイムシ類、増生病、ならたけ病などについて講演していただきました。

2. 第九期の事業

「街路樹診断協会創立20周年記念事業」の準備作業・活動を本格的、重点的に推進

街路樹診断協会創立20周年記念事業実行委員会(委員長:笠松滋久副会長)のもと、4つの小委員会(企画委員会、渉外委員会、広報委員会、出版委員会)を編成します。

- ①国際シンポジウムの開催(2019年5月～6月を予定)
- ②「都市樹木ハザード点検・診断」に関する出版準備

樹木の点検・診断をリードする技術団体としての活動

- ①第9回街路樹診断士の認定事業を実施
 - ・経験を有する技術者を技術顧問として招聘
- ②研修会開催
 - ・会員向け研修会を6月と8月に開催
 - ・各支部とタイアップした研修会を開催
 - ・「樹木の日常点検講習会」を開催

診断情報の共有化・見える化

- ①会報の発行
- ②出版物販売事業
- ③一般へのプロモーション(市民の認知度向上)
 - ・日比谷公園ガーデニングショー出展
 - ・積極的な取材協力…協会ウェブサイトの定期的更新、マスコミの取材対応及び情報提供

新たなメンテナンス技術発掘に向けての国際交流

- ①都市樹木の診断・点検を先駆的に行っている海外事例の情報収集と技術交流
- ②台湾での活動推進(技術交流と連携)
 - ・大安森林公園之友基金会との技術交流。3年にわたる樹勢回復試験の結果取りまとめ

● 都市樹木の診断を視野に活動を ●

街路樹診断協会創立20周年事業の推進とともに、今後は一般社団法人街路樹診断協会の認知度・信頼度を高め、都市の安全・安心に貢献する団体として一層の社会的役割を果たしたいと思います。

2011年(平成23年)に街路樹診断士制度スタートさせました。近年の街路樹診断事業の発注の広がりとともに、街路樹診断士には、正確な診断技術を持つことはもとより、さらに診断結果を道路管理者や市民に分かりやすく伝えることも重要な技量となっています。

会員の多くは既に街路樹診断手法を用いて公園樹木の診断も手掛けています。協会の英語名では「Urban Tree」を使用しており、都市に生育する樹木についての点検・診断に主導的な役割を果たすことを視野に入れた活動を起こすことも時宜を得たことだと考えます。

〔参考:国土交通省により示された基準、指針〕

2015年(平成27年)3月24日「道路緑化基準」の改訂

2017年(平成29年)9月「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)」策定

URL <http://www.mlit.go.jp/common/001203395.pdf>

サクラ類の昨今の病虫害事例



小林 明 氏

(一般社団法人日本樹木医会東京都支部理事)

主な講演内容

1. クビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*)
2. キクイムシ類 (*Scolytidae* の総称)
3. 増生病 (*Bacterial gall*・*Nectria canker*)
4. ならたけ病など
5. 病虫害と樹木診断の適期

クビアカツヤカミキリ

2018年(平成30年)1月15日、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(一般に「外来生物法」)による特定外来生物に指定されました



東京都内(福生市・あきる野市)における生態概観

- 成虫の発生期
 - ・ 年に1回で6月下旬～8月上旬(6月下旬～7月上旬がピーク)
 - ・ オスのほうが発生が早く、メスと出会うと交尾か
- フラスと樹液の発生
 - ・ 5月下旬～9月中旬(6月中旬～8月がピーク)
 - ・ 発生位置は高さ4m前後以下
 - ・ フラスと樹液が同じ位置から発生することはあまりない
- 成虫からはほのかな匂い(別名:クロジャコウカミキリ)
 - ・ 風に乗って漂う(ハスが放つ香りに似ている!?)



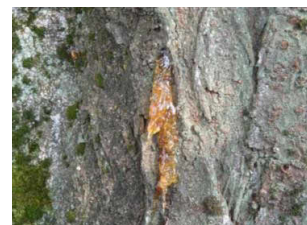
フラス



フラス(崩れた状態)



フラス(新鮮な状態)



樹液

駆除方法

噴霧式殺虫剤
商品名「ロビンフード」

噴霧式殺虫剤は、他にも「ベニカカミキリムシエアゾール」があります

ネットと生物農薬
商品名「バイオリサ」

「バイオリサ<カミキリ>スリム」は果樹のカミキリムシ類、かえでのゴマダラカミキリなどに適用登録されています



誘引剤

マツノマダラカミキリ等の捕獲資材

サクラ類を加害するキクイムシ類

東京都内で確認した種類(同定は森林総研による)

- ・サクラノキクイムシ (*Polygraphus ssiori* Nusima)
- ・ヒメヨツメキクイムシ (*Polygraphus parvulus* Murayama)
- ・ニホンキクイムシ (*Scolytus japonicus* Chapuis)



樹液垂れ

被害の観察

- 目視による被害の有無の判断
- ・ 樹液垂れ(5月中旬～9月頃)
- ・ 紅葉(5月中旬～7月)
- ・ 成虫の捕獲(6～9月頃)
- 枝枯れは年数をかけて進行
- 有効な防除法がない



樹皮に穿孔したキクイムシ



増生病 症状に2タイプ(資料・森林総研)

発生後、年月とともに枝が衰弱する

(1)がんしゅ

細菌によるこぶ病(Bacterial gall)

(2)かいよう(潰瘍) 玉が連結したような形状が特徴

糸状菌によるがんしゅ病(Nectria canker)

* 中間の症状もあり、2タイプをまとめて増生病とする



増生病の感受性がある主なサクラ類

出典:サクラの新しい系統保全(多摩森林科学園)他

区分	野生種	栽培品種
こぶ症状	イヌザクラ ムシャザクラ(台湾産)	染井吉野、クルサル、 八重紅枝垂、鬱金 など
かいよう症状	チョウジザクラ	一葉、御車返、椿寒桜、 雛桜、冬桜 など ・エドヒガン系には少ない

ならたけ病

(1)ならたけ病の病原

ナラタケ類(ナラタケ属 *Armillaria*)

- ・東京都内ではほとんどがナラタケモドキ
- ・サクラ類では根や地際の幹に発生
- ・伐採直後の植替木にも発生する傾向がある。対策には土壌の入れ替え、土壌消毒が必要

(2)子実体の発生期

- ・梅雨と秋霖の頃
- ・2017年は夏の多雨により8月下旬から発生

(3)若木は1～数年で枯死、高齢木は数年以上生存

- ・伐採後の根に菌糸が残り、新植の木も枯死しやすい



若木は衰弱が速く進む傾向がある

サクラ類を食害する虫 現場からの話題

(1)コスカシバ

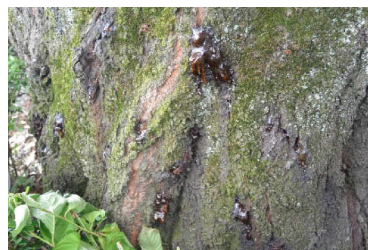
- ・健全な部分に食害
- ・養分(樹液)のあるところを的確に探す!?

(2)タマムシ(ヤマトタマムシ)

- ・衰弱した木や枝に食害
- ・産卵された木は枯れることがある

(3)キマダラカメムシ<外来種>

- ・葉を食害とのこと(未確認)
- ・九州、四国から近年は関東地方でも生息
- ・千代田区や多摩市、あきる野市などで確認
- ・幼虫と成虫は大きさ・模様が異なる



コスカシバ幼虫の食害による樹脂垂れ



タマムシ



キマダラカメムシ(成虫)



キマダラカメムシ(幼虫)

(4)アメリカシロヒトリ<外来種>

- ・近年は東京都内であまり見かけない
- ・生息域は都市部から郊外・山間地へ、か!?



アメリカシロヒトリ

サクラ類・主な病虫害観察の適期(東京都内)

病虫害が発生する時期に樹木診断を行うことが大切

病虫害	季節	春 (3～5月)	夏 (6～8月)	秋 (9～11月)	冬 (12～2月)
クビアカツヤカミキリ					
キクイムシ類					
増生病					
コスカシバ					
タマムシ					
ハバチ類					
モンクロシャチホコ					
ナラタケモドキ					

凡例／成虫： 成虫 フラスや樹液・穿孔： 病徴など： 葉の食害痕：

サクラ類の主な病害虫

発生場所区分	病気の例	害虫の例
根 地際	材質腐朽病 白紋羽病・紫紋羽病 ならたけ病 根頭がんしゅ病	ネコブセンチュウ類 コガネムシ類
幹・枝	材質腐朽病、てんぐ巣病 がんしゅ病、増生病 幼果菌核病、キノコ類による病気 さめ肌胴枯れ病	キクイムシ類 カイガラムシ類 コウモリガ タマムシ
葉	うどんこ病 さび病	アブラムシ類、アメリカシロヒトリ、イラガ類、エダシャク類 シャチホコガ類、ドクガ類、ノバチ類、ハマキムシ類、ハムシ類

サクラ類の種類別病虫害の発生(傾向)

病虫害	種類名	染井吉野	ヤマザクラ カスミザクラ	オオシマザクラ	関山など栽培品種
クビアカツヤカミキリ		○	○	○	○
キクイムシ類		△	○	×	△
コスカシバ		○	○	○	○
増生病		○	×	×	○
ならたけ病		○ (サクラ類の他、広葉樹に発生)			

凡例／○：発生確認が多い △：少ない ×：未確認

[注意] 写真、表の無断使用はしないで下さい。小林氏にご了承いただき、本紙に掲載しております。

MEMO：樹木診断カルテの作成(サクラの種類、サクラ属の学名)

- カルテに「サクラ」と記載するだけでは不十分
 - ・種類名を記載する。不明な場合はサクラ類とし、できれば系統を表記
 - ・野生種はカタカナ表記(エドヒガン、ヤマザクラ、オオシマザクラ、カスミザクラなど)
- ※紀伊半島で新たな野生種クマノザクラが発見されました
[参考] <http://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2018/20180313/index.html>
- ・栽培品種は漢字表記が基本(染井吉野、鬱金、一葉、冬桜など)
- ※用語：人が作り出した植物の種類は園芸品種から栽培品種とする方向にある
- サクラ属の学名は、*Prunus*から*Cerasus*として扱うことが多くなっている

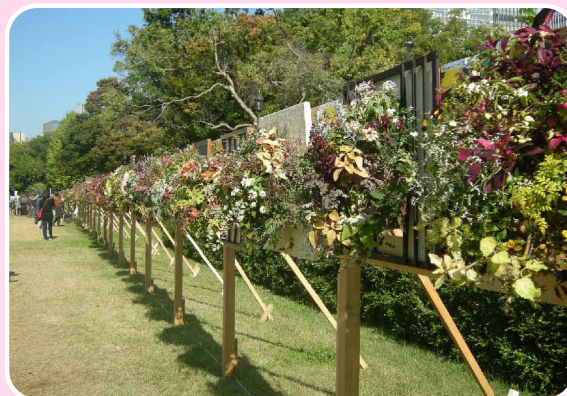
「第15回日比谷公園ガーデニングショー2017」に出展しました

2017年10月21日(土)から29日(日)まで日比谷公園で開催された「第15回日比谷公園ガーデニングショー2017」のテントコーナーに出展し、街路樹診断と当協会の活動をPRしました。台風21号による荒天のため、22日～24日は一時撤収・再展示と対応に追われましたが、会員等の協力で乗り切ることができました。

展示は、街路樹の腐朽被害写真、樹木診断方法や街路樹診断士の紹介ポスター、クビアカツヤカミキリについてのポスターを掲示し、ブースに来てくださった方々からは桜の害虫に対して関心が寄せられました。



今回の「日比谷公園ガーデニングショー」は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、首都東京がガーデンシティ(庭園都市)として世界の人々をおもてなしする都市となるよう花と緑のあり方を広く発信するというコンセプトで開催され、ガーデンコンテスト、グルメキッチンカー、花苗の配布、15周年記念シンポジウムなど様々なイベントが行われました。



<北陸連絡事務所発:講習会開催報告>

『都市公園等における樹木の日常点検講習会』を開催しました

主 催：一般社団法人 日本樹木医会 富山県支部

共 催：一般社団法人 街路樹診断協会

後 援：富山県

開催場所：富山県民会館

— 講義内容 —

『樹木のハザードについて』

講 師：飯塚康雄 氏（国土技術総合政策研究所 社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室）

（主な内容）： ■落枝・倒木・根返り事例と原因

■都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)の解説

『都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)参考資料の解説』

講 師：永石憲道 氏（一般社団法人街路樹診断協会 技術委員長）

（主な内容）： ■日常点検と定期点検及び災害対策点検の実際



左:飯塚氏、右:永石氏

2018年(平成30年)2月23日(金)に一般社団法人日本樹木医会富山県支部と協力して、都市公園等における樹木の日常点検講習会を開催しました。

ご存知のとおり、都市公園等に植栽された樹木は、特に高度経済成長期や都市公園整備五箇年計画期間に積極的に整備されてきたため、現在では老齢化・大径木化しており、倒伏や落枝による重大事故等の発生リスクが高まっていることが懸念されています。

2017年(平成29年)9月には国土交通省より「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)」が発表され、樹木の持つ機能や効用のみならずその安全性を両立しつつ継続的に確保していくという機運の高まりを受け、理事会でも「都市公園等における樹木の日常点検講習会」開催の必要性が叫ばれていた矢先であったため、樹木医会富山県支部の企画事業に共催という形で携わることとなりました。

本講習の対象者は、樹木を最前線で管理する自治体の職員や指定管理者、植栽管理を請け負う造園業者等で樹木の日常点検を担当する方とし、日常点検に関する技術習得を目的として広く広報したところ、当日は100名以上の参加があり、その半分以上は自治体職員の方々でした。やはり、事故のリスクは自治体職員の方々のほうが関心度が高いようです。

前述の指針案も、対象は都市公園樹であるかもしれませんが、基本的な考え方はこれまで街路樹診断で積み重ねてきた技術と知見に基づいております。今後も街路樹診断協会として先駆的に本講習会を全国展開していく必要性を感じることが出来た講習会でした。

(北陸連絡事務所 野上一志)

支部・本部の動き

2017年8月～2018年4月

関西支部

①御堂筋完成80周年記念 街路樹フォーラム「御堂筋の魅力、美しい街路樹が美しい都市景観を支える」が、主催：(一社)日本樹木医会近畿地区協議会、NPO法人おおさか緑と樹木の診断協会、共催：(一社)街路樹診断協会関西支部で、2017年10月31日大阪市中央公会堂で行われました。基調講演1として大阪府立大学名誉教授増田昇先生による「美しい街路樹が美しい都市景観を支える」、基調講演2としてNPO法人御堂筋・長堀21世紀の会まちづくり部会メンバーの藤川俊之先生による「御堂筋イチョウ並木の魅力」が行われました。パネルディスカッションは、コーディネーターが増田先生、パネリストに台湾の陳鴻楷(チン・ホンカイ)先生、韓国の李承齋(イ・スンジェ)先生、藤川先生、当協会関西支部管内副支部長に参加いただき実施しました。参加者は約150人で盛況でした。

②公益財団法人大津市公園緑地協会より、瀬田湖岸緑地樹木調査業務を受託しました。およそ50本のシダレヤナギの診断業務で、腐朽が進行しているものもあり協会には早期の処置をお願いし、成果品の納品も無事終了しました。工期は、2018年1月4日～3月30日でした。

③姫路市の株式会社藤原園様((一社)日本樹木医会兵庫県支部所属)より、街路樹の初期診断業務を受託し、2017年11月17日に現地調査を実施しました。今後の姫路市での診断業務の普及が望まれます。

④前年実施した株式会社村田製作所八日市事業所のアカマツ診断の1年後再点検を実施しました。対象となったのは、前年調査でB2ランクとなった6本で、いずれも大きな変化はなく経過観察を現地の緑化担当者様にお願いしました。

⑤第7回街路樹研修会を2018年4月27日に実施しました。主催は当協会、NPO法人おおさか緑と樹木の診断協会、(一社)日本樹木医会大阪府支部で、今回は「仙台市に学ぶ美しい街路樹の作り方」と題し、講演1として、仙台市建設局百年の杜推進部公園課施設管理係長水嶋信文先生に「仙台市における街路樹の育成方針」を、講演2として東洋緑化株式会社代表取締役社長石出信一郎先生に「仙台市の街路樹剪定方法について」と題しそれぞれお話をいただきました。また、話題提供として、当協会笠松副会長に「御堂筋を例とした街路樹の課題について」、東京農業大学客員教授の有賀一郎先生に「街路樹としてのイチョウ」のお話をいただきました。その後講演者による意見交換会を、笠松副会長をコーディネーターとして行いました。参加者は約120名で、自治体の担当者、樹木医、造園関係者などにご参加いただきました。

九州支部

【実施】

2017年8月 福岡県造園協会機関紙「エバーグリーン」都市と樹木の共生 リレー掲載 執筆：武林晃司

9月～11月 (株)森園芸場より樹木診断業務(春日市街路樹診断)を受注、実施

11月～2018年3月 朝日テクノ(株)より樹木診断業務(虹の松原)を受注、実施

2018年1月～3月 日田市より街路樹診断業務を受注、実施

2月～3月 福岡県樹木医会より福岡市街路樹精密診断業務を受注、実施

4月 九州支部 役員会開催

【総会】

2017年12月1日(金)15:00～18:00

(1)総会(15:00～16:00)

(2)研修会(16:00～18:00)

「トルコで日本庭園をつくる」伊東 伴尾 本部技術顧問

「ヤンバルの森の役者たちと森林浴の効果」樋口 純一郎 九州支部会員

「樹木信仰と現在をつなぐ～熊本の御神木～」水上 紗智子 九州支部会員

(3)懇親会(18:30～20:30)

【内部研修会】

2018年2月16日(金)～18日(日) 日田市街路樹診断業務及び前回診断との検証

【予定】

第13回 樹木危険度診断講習会

2018年7月20日(金)13:00～17:00

場所：佐賀県佐賀市保健福祉会館 ほほえみ館

本部

【理事会】

第1回 2017年10月13日(金) 8期事業報告 9期事業計画策定

第2回 2017年10月27日(金) 総会時理事会

第3回 2018年 1月31日(水) 9期事業運営報告 20周年記念事業検討

【技術委員会】

・技術委員会

第1回 2017年11月28日(火)17:00 診断協会事務局会議室 出版内容検討

第2回 2018年 1月19日(金)17:00 診断協会事務局会議室 街路樹診断関連システム

第3回 2018年 4月25日(水)17:00 診断協会事務局会議室 研修内容検討

・樹木医学会

2017年11月11日～13日 「国内におけるTreeRiskAssessmentの動向」のポスター発表 神庭会長

【事業委員会】

2018年1月19日 (一社)やまがた樹木医会の樹木医講演会にて笠松副会長が「街路樹診断導入の経緯と診断方法」の講演 会場：ヒルズサンピア山形(山形市)

【予定】

(1)街路樹診断士認定委員会 ・2018年8月 第9回認定事業実施

(2)国際交流事業 ・20周年記念事業準備

(3)技術委員会 ・2018年6月 街路樹診断研修(会員向け) 会場未定

・2018年7月予定 街路樹診断マニュアル研修 100名 会場：清澄庭園 大正記念館

(4)事業委員会 ・会報第6号 発行予定

新入会員紹介

正 会 員 関東支部 株式会社大沢園(東京都町田市)

正 会 員 関西支部 出雲土建株式会社(島根県出雲市)

正 会 員 九州支部 株式会社トロピカル・グリーン設計(沖縄県那覇市)

賛助会員 九州支部 水上紗智子(熊本県菊池市)

一般社団法人 街路樹診断協会

関西支部

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-8-14 (株)日比谷アメニス内
TEL・FAX:06-6444-3990

九州支部

〒805-0033 福岡県北九州市八幡東区
山路松尾町14番2号 一般社団法人 北九州緑化協会会館内
TEL・FAX:093-651-5512

北陸連絡事務所

〒939-8253 富山県富山市新保271 (株)野上緑化内
TEL:076-429-1310 FAX:076-429-4374

台湾連絡事務所

一般社団法人 街路樹診断協会 台湾籌備處
台北市四維路176巷2號1樓
TEL:+886 02-2325-6911